

熊本市公共事業環境配慮指針に基づく  
環境配慮の実施状況について  
(令和元年度報告)

令和3年1月

熊本市環境局環境推進部環境政策課

熊本市公共事業環境配慮指針に基づく環境配慮の実施状況について  
(令和元年度報告)

本市の公共事業において、「熊本市公共事業環境配慮指針」に基づく環境配慮の実施状況について報告するものである。今回、報告対象としているのは、令和元年度中に公共事業環境配慮評価会議で評価した事業(第1種事業)、チェックシート等で評価した事業(第2種事業)、工事が完了し、環境配慮結果が報告された事業である。

【重点配慮事項について】

環境保全都市宣言や環境総合計画等に基づくもので、公共事業を構想・計画する段階での環境配慮の必須事項としている。

重点配慮事項	主な配慮事項
1 環境保全型エネルギーの活用	太陽光発電設備の導入
2 省エネルギーの推進	省エネルギー型照明等の導入
3 その他温室効果ガスの発生抑制	アイドリングストップの促進やノンフロン製品の採用
4 地下水のかん養及び保全	雨水浸透ますの設置や節水型給水設備の設置
5 緑の創出及び保全	敷地面積の20%以上の緑化目標
6 建築廃棄物の減量及びリサイクルの推進	再生骨材等の利用

※ 各重点配慮事項の詳細は、熊本市公共事業環境配慮指針9ページ以降参照

1 指針に基づき評価を行った事業

- (1) 公共事業環境配慮評価会議で評価した事業(第1種事業) 0件
- (2) チェックシート等が更新された事業(第1種事業) 0件
- (3) チェックシート等が更新された事業(第2種事業) 1件
- (4) チェックシート等が提出された事業(第2種事業) 12件

2 工事が完了後に環境配慮結果が報告された事業

- (1) 工事が完了し、環境配慮結果が報告された事業(第1種事業) 4件
- (2) 工事が完了し、環境配慮結果が報告された事業(第2種事業) 7件

1 指針に基づき評価を行った事業

- (1) 公共事業環境配慮評価会議で評価した事業（第1種事業）なし
- (2) チェックシート等が更新された事業（第1種事業）なし
- (3) チェックシート等が更新された事業（第2種事業）1件

No.	【事業種類】 事業・工事名 (担当課)	現況	重点 配慮 事項	主な実施予定
1	【建築物整備事業】 「洋学校教師館」復旧事業 (文化財課)	工事	2	LED機器の導入
			3	アイドリングストップ、急発進、空ふかしの抑制に努める 経済運行速度の遵守に努める、フロンを使用しない
			4	トイレ等に節水型機器を使用する、透水性舗装の採用に努める、地下工事については、地下水質に配慮した工法を採用
			5	移築先が公園内のため、緑化面積の保全に努める
			6	再生骨材等を利用する、建設発生土の抑制を図る、建設廃棄物の発生の抑制を図るとともに、搬出する場合は、再資源化施設へ搬出し、再資源化を図る

(4) チェックシート等が提出された事業（第2種事業）12件

No.	【事業種類】 事業・工事名 (担当課)	現況	重点 配慮 事項	主な実施予定
1	【道路・街路整備事業】 白川自転車歩行者専用道路整備工事 (新屋敷工区) (土木管理課 自転車対策室)	工事	3	工事請負業者に対してアイドリングストップ等、法定速度の指導を実施する
			6	再生骨材、再生加熱アスファルト使用、建設廃棄物（コンクリート塊、アスファルト塊）の再資源化の実施
2	【軌道整備事業】 国府電停付近軌条更换工事 (交通局 運行管理課)	工事	3	アイドリングストップ、急発進、空ふかしの抑制及び経済運行速度の遵守について 工事受注者への指導を行うことにより作業現場での抑制を図る、排ガス規制建設機 械を使用する
			4	搬入土砂等は、土壌基準に適合したものを使用する
			6	仮舗装時のアスファルト材料及び路盤材については再生骨材を利用する、本工事で 発生するアスファルト塊及びコンクリート塊及び建設発生木材については再資源化 又は適正処理する、建設発生土の発生抑制、工事間利用、適正処理については建設 発生土情報交換システムを活用し、工事間利用を促進する
3	【建築物整備事業】 国際交流会館空調設備改修工事 (国際課)	工事	3	アイドリングストップ、急発進、空ふかしの抑制、経済運行速度の遵守、 代替フロンを採用予定
			4	地下工事時における地下水質及び水量への配慮、周辺の水道水源井戸及び湧水の保 全、搬入土砂等は土壌基準に適合したものを使用
			6	再生骨材、再生加熱アスファルト混合物等の利用、金属型枠の使用、間伐材の有効 利用、建設廃棄物の再資源化、適正処理等の実施、伐採木等の再資源化
4	【建築物整備事業】 植木火葬場建替事業 (健康福祉政策課)	計画	1	太陽光発電など環境保全型エネルギーの活用について設計段階で考慮する
			2	省エネルギー型照明など省エネルギーの推進について設計段階で考慮する
			3	アイドリングストップ、急発進、空ふかしの抑制、経済運行速度の遵守 代替フロン、ノンフロンの採用
			4	雨水の散水利用や処理水の中水利用設備の導入及び節水機器の導入、雨水浸透枳の 設置、透水性舗装や透水性側溝の採用、地下工事時における地下水質及び水量への 配慮及び周辺の水道水源井戸及び湧水の保全について設計段階で考慮する 搬入土砂等は土壌基準に適合したものを使用する
			5	敷地、壁面、屋上の施設緑化について設計段階で考慮する 「熊本市みどりの指針」を遵守した緑の創出、環境保護地区及び保存樹木等の保全 及び樹木による四季感の創出について全体計画において考慮する
			6	再生骨材、再生加熱アスファルト混合物等の利用、金属型枠の使用及び間伐材の有 効利用について検討する 建設廃棄物の再資源化、適正処理等の実施、伐採木等の再資源化、建設発生土の発 生抑制、工事間利用、分別保管及び適正処理について設計段階で考慮する
5	【建築物整備事業】 子ども文化会館空調及び特定天井等 大規模改修 (子ども支援課)	計画 設計	2	省エネルギー型照明など省エネルギーの推進について設計段階で考慮する
			3	アイドリングストップ、急発進、空ふかしの抑制、経済運行速度の遵守 代替フロン、ノンフロンの採用

1 指針に基づき評価を行った事業

(4) チェックシート等が提出された事業 (第2種事業) 12件

No.	【事業種類】 事業・工事名 (担当課)	現況	重点 配慮 事項	主な実施予定
6	【建築物整備事業】 東部浄化センター内家畜排せつ物受 入施設増設工事 (水保全課)	計画 設計	1	本事業で整備する施設等を用いて、バイオマス資源 (熊本市東部堆肥センターで発生した家畜排せつ物の液状分) からガス発電によりエネルギーを創出し、東部浄化センター内施設で利活用する
			3	工事車両から排出されるCO2の発生抑制のため、急発進や空ふかし等を抑制する
			4	周辺に水道水源井戸等はないが、地下水汚染や土壌汚染の防止に努める
			6	再生資材等を利用、発生した廃棄物は再資源化し、再資源化できないものは適正に処理する、建設発生土は有効利用し、余剰分は適正に処理する
7	【建築物整備事業】 秋津浄化センター解体事業 (浄化対策課)	工事	3	低排出ガス車両を使用、経済運行速度の遵守指示
			4	場内に溜まった雨水を粉塵の飛散防止のため、散水に利用する 舗装撤去による地表面から地下への雨水浸透面積増加、水文調査の実施 杭抜き、矢板工事の際に地下水への影響の少ない工法を選定する 搬入土砂の分析結果を提示させ、適合基準を満たしたものを投入する
			6	造成工事において再生骨材を利用、建設廃棄物 (コンクリート殻、金属、アスファルト、ガラス、PCB、アスベスト) 等を中間処理施設へ持ち込み、再資源化
8	【建築物整備事業】 令和3年度 市営団地外壁改修その他工事 (市営住宅課)	計画 設計 工事	3	重機について、低排出ガス認定車の利用を指示する
			6	金属くず、伐採材の再資源化を計画している
9	【建築物整備及び造成事業】 (仮称) 菱形団地建替工事 (市営住宅課)	計画 設計 工事	2	省エネルギー型照明など省エネルギーの推進
			3	アイドリングストップ、急発進、空ふかしの抑制、経済運行速度の遵守 低排出ガス重機の使用
			4	雨水浸透柵の設置、地下工事時における地下水質及び水量への配慮
			5	敷地、壁面、屋上の施設緑化
			6	再生骨材、再生加熱アスファルト混合物等の利用、建設廃棄物の再資源化、適正処理等の実施、建設発生土の発生抑制、工事間利用、分別保管、適正処理
10	【建築物整備事業】 熊本博物館屋根及び外壁改修工事 (熊本博物館)	工事	3	工事請負業者に対してアイドリングストップ等、法定速度の指導を実施する
			6	既存屋根材を活用し、全体に覆いを行う「カバー工法」を選択したことにより、工期の短縮や資材の再利用による工事の省エネルギー化を図る、工事請負業者に対し、建設副産物の発生抑制及び再資源化について指導する。
11	【建築物整備事業】 教育センター屋根その他改修工事 (教育センター)	計画 設計	3	工事請負業者に対してアイドリングストップ等、法定速度の指導を実施する
12	【造成事業】 動植物園再整備事業 (公園課 全国都市緑化フェア推進 室)	計画 設計 工事	3	アイドリングストップ、急発進、空ふかしの抑制、経済運行速度の遵守
			4	透水性舗装の採用、地下水への影響が無い工法を選定、搬入土砂等は土壌基準に適合したものを使用
			5	樹木の成長計画を基に適切な生育を促す目的で間引き等を行う
			6	再生材 (AS合材等) 使用予定、間伐材の有効利用、建設廃棄物の再資源化、適正処理等の実施、伐採木等の再資源化、建設発生土の発生抑制、工事間利用、適正処理

2 工事完了後に環境配慮結果が報告された事業（主な実施例）

(1) 工事が完了し、環境配慮結果が報告された事業（第1種事業）4件

No.	【事業種類】 事業・工事名 (担当課)	現況	重点 配慮 事項	主な実施
1	【建築物整備事業】 植木体力・健康づくり拠点施設整備 事業 (スポーツ振興課)	完了	2	省エネルギー型照明を設置した
			3	アイドリングストップ、急発進、空ふかしの抑制、経済運行速度の遵守について指導を行った、代替フロン、ノンフロンの採用するよう指導を行った、工事車両から排出されるCO2の発生を抑えるため、エコドライブの実践に努めた
			4	雨水の散水利用や処理水の中水利用設備、節水機器を導入した、建設発生土の発生抑制、工事間利用、分別保管、適正処理を行った、地下工事時における地下水質及び水量及び周辺の水道水源井戸及び湧水の保全について配慮した、搬入土砂等は土壌基準に適合したものを使用した、広場を芝生とし地下浸透を妨げないよう努めた、搬入土砂は、土壌環境基準を満たすものを使用した
			5	広場を芝生化することで緑の創出に努めた 公園内に高木を植栽することにより緑化を図った
			6	建設廃棄物の再資源化、適正処理を実施した、再生骨材、再生加熱アスファルト混合物等を利用した、建設発生土の発生抑制に努め、可能な限り建設発生土の現場内利用した
			2	【建築物整備事業】 秋津災害公営住宅建設工事 (震災住宅支援課)
3	アイドリングストップ、急発進、空ふかしの抑制、経済運行速度の遵守について施工業者へ指導を行った、冷媒ガスに代替フロンを採用したエアコンを設置した			
4	節水型の便器を設置した、雨水浸透柵の設置、透水性アスファルト舗装を採用した、搬入土砂等は土壌基準に適合したものを使用した			
5	敷地の一部を緑化（芝張）した			
6	再生骨材、再生加熱アスファルト混合物等、金属型枠、間伐材の有効利用、建設廃棄物について中間処分場等に持ち込み、再資源化又は適正に処理を実施した、発生土は埋め戻しに利用し、残ったものは別現場に提供した			
3	【建築物整備事業】 白藤災害公営住宅建設工事 (震災住宅支援課)	完了		
			3	アイドリングストップ、急発進、空ふかしの抑制、経済運行速度の遵守について施工業者へ指導を行った、冷媒ガスに代替フロンを採用したエアコンを設置した
			4	節水型の便器を設置した、雨水浸透柵を設置した、セメントミルクを利用したが、廃棄物は適切に処理した
			5	敷地の一部を緑化（芝張、植樹）した
			6	再生クラッシャーラン等を利用した、建設廃棄物について中間処分場等に持ち込み、再資源化又は適正処理を実施した、建設発生土は埋め戻しに利用し、残ったものは別現場に提供した
			4	【建築物整備事業】 熊本市民病院再建事業 (病院局 事務局総務企画課)
2	LED照明、照度センサー制御照明を設置			
3	工事請負業者に対してアイドリングストップ、急発進、空ふかしの抑制、経済運行速度の遵守を指導、代替フロン機器の設置、建物の断熱化（Low-E複層ガラス、断熱材の使用）			
4	雨水再利用設備設置による散水利用、節水型便器や自動水栓などの節水機器を設置、雨水浸透施設の設置及び透水性舗装を採用、杭工事に伴う地下水質管理の実施			
5	敷地内、壁面(立体駐車場)の施設緑化を実施し、可能な範囲で緑地を確保			
6	再生骨材の利用、建設廃棄物の再資源化及び適正処理、建設発生土の発生抑制及び適正処理			

2 工事完了後に環境配慮結果が報告された事業（主な実施例）

(2) 工事が完了し、環境配慮結果が報告された事業（第2種事業）7件

No.	【事業種類】 事業・工事名 (担当課)	現況	重点 配慮 事項	主な実施
1	【道路・街路整備事業】 都市計画道路小町通り線外1路線道 路整備工事 (植木中央土地区画整理事業所)	完了	2	LED照明灯62W設置
			3	アイドリングストップ、急発進、空ふかしの抑制、経済運行速度の遵守
			4	歩道は透水生舗装にて整備を行う、植樹帯の整備を行う、搬入土砂等は土壌基準に適合したものを使用
			5	植樹帯の整備を行う、環境保護地区及び保存樹木等の保全、樹木による四季感の創出、のり面の緑化や緑地などの整備について配慮した
			6	再生骨材、再生加熱アスファルト混合物等の利用、金属型枠の使用を指導した、建設廃棄物の再資源化、適正処理等の実施、建設発生土の発生抑制、工事間利用、適正処理について指導
2	【道路・街路整備事業】 都市計画道路東西線線外1路線道路 整備工事 (植木中央土地区画整理事業所)	完了	2	LED照明灯62W設置
			3	アイドリングストップ、急発進、空ふかしの抑制、経済運行速度の遵守
			4	歩道は透水生舗装にて整備を行う、植樹帯の整備を行う、搬入土砂等は土壌基準に適合したものを使用
			5	植樹帯の整備を行う、環境保護地区及び保存樹木等の保全、樹木による四季感の創出、のり面の緑化や緑地などの整備について配慮した
			6	再生骨材、再生加熱アスファルト混合物等の利用、金属型枠の使用を指導した、建設廃棄物の再資源化、適正処理等の実施、建設発生土の発生抑制、工事間利用、適正処理について指導
3	【下水道整備事業】 坪井川第5排水区雨水幹線整備事業 (河川課)	完了	3	アイドリングストップ、急発進、空ふかしの抑制を実施した。
			4	薬液注入を行う際は、観測孔を設置し、周囲への影響がないか観測を行った
			6	再生骨材、再生加熱アスファルト混合物等を使用した、建設廃棄物の再資源化、適正処理等を実施した、建設発生土については適正に処理した
4	【建築物整備事業】 動植物園池等ろ過設備設置工事 (動植物園)	完了	4	建設廃棄物の再資源化及び適正処理を実施
			6	ろ過設備設置により井戸水使用量が減少
5	【建築物整備事業】 熊本市消防局東側庁舎増築及び震災 復旧等工事 (消防局 管理課)	完了	1	太陽光発電設備の導入 (5.5kWh)
			2	高効率照明器具の採用
			3	アイドリングストップ、急発進、空ふかしの抑制、経済運行速度の遵守について指導、代替フロン、ノンフロンの採用
			4	透水性舗装や透水性側溝の採用、鋼管杭工法採用、搬入土砂等は土壌基準に適合したものを使用
			6	再生骨材、再生加熱アスファルト混合物等の利用、建設廃棄物の再資源化、適正処理等の実施
6	【建築物整備事業】 外壁改修工事（武蔵ヶ丘団地、東本 町団地） (市営住宅課)	完了	3	重機について、低排出ガス認定車を利用した
			6	工事現場から発生した建設廃棄物は、再資源化施設に搬入し、再資源化を図った
7	【建築物整備事業】 大江災害公営住宅建設工事 (震災住宅支援課)	完了	2	LED照明を採用した
			3	アイドリングストップ、急発進、空ふかしの抑制、経済運行速度の遵守について指導した
			4	節水型の便器を設置した、雨水浸透柵を設置した、透水性アスファルト舗装・側溝を採用した、セメントミルクを使用しない工法（鋼管杭）を採用した
			5	敷地の一部を緑化（芝張）した
			6	再生クラッシャーラン等を利用した、建設廃棄物は中間処分場等に持ち込み、再資源化又は適正処理を実施した、発生土は埋め戻しに利用した